

# 平成28年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

## I 自己評価

2 評価する領域・分野	図 書 部	
3 現状 生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書選定については教員や生徒からのリクエストを優先させておりほぼリクエストに応じている。</li> <li>・リクエスト以外は司書を中心に図書選定委員会で審議している。</li> <li>・新規導入図書については、新着図書案内を生徒に配布し、背表紙のカラーコピーを図書館入口に掲示している。</li> <li>・生徒に読書の機会を与えるため、朝読書週間を設けている。</li> </ul>	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書により読書に対する興味・関心を高め、文章読解力を養い、小論文対策に備える。</li> <li>・広報活動等による図書館利用の拡大。</li> </ul>	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新入生オリエンテーション・転任教員オリエンテーションの実施</li> <li>・朝読書の試行（年5回）</li> </ul>	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 朝読書 (2) 図書館だよりの発行、新着図書の連絡	(1) 朝読書試行回数及び時間、その後の貸出冊数 (2) 発行部数、内容	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評 価
(1) 朝読書の実施	(1) 実施日数・時間	A (B) C D
(2) 新入生オリエンテーションの実施	(2) 内容	(A) B C D
(3) 図書館だよりの発行、新着図書の連絡	(3) 発行回数、内容	A (B) C D
(4) 読書に対する興味・関心	(4) 貸出冊数	A (B) C D
11 成果・課題	<p>○新入生オリエンテーションを年度当初に行うことで、早い時期から1年生に対して図書の貸し出しを行うことができた。今年度は図書への興味・関心を高めるため、図書の紹介をしあう「ビブリオ・バトル」を行った。全員発表する機会が持ててよかったがもう少し紹介内容が増えるように指導していきたい。また、朝読書の必要性についても説明することができた。</p> <p>○始業前の10分間朝読書を行うことにより、朝読書用の本を借りる生徒が増え、多くの貸出利用があった。朝読書をきっかけに、生徒の読書に対する興味・関心が高まったと考えられる。</p> <p>○朝読書は冬季の放課後に対する配慮として10月までに終了した。また、落ち着いて朝読書に取り組めるように、実施日が他の行事や進路小テストと重ならないように工夫した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●昨年度より貸出冊数が1年生2年生ともに減少している。</li> <li>●調べ学習としての図書室の利用は、昨年より若干減少した。</li> </ul>	
12 来年度に向けての改善方策案		
<p>(1) 「朝読書週間」の施行回数は年4回、1週間とし、SHRの中で5分間11月まで実施したい。</p> <p>(2) 新入生オリエンテーションにおいて、ビブリオバトルでの発表内容が増える工夫をしたい。</p> <p>(3) 朝読書や広報活動の積極的な展開により図書館利用を拡大していきたい。</p> <p>(4) クラスごとの図書館利用状況を調べ、貸し出し冊数増加につないでいきたい。</p>		